

① 主題名

宿泊訓練

② 主題設定の理由

本校教育の一環として4・5年生による宿泊訓練を実施し、学校や家庭で得がたい体験をさせることによって、規律・協同・友愛、泰仕の精神を集団野外活動の中で養うことを目的としている。

この目的を達成するために、基本的行動様式があることを理解させ、その上にたって2日間の係活動や行動のきまりを自主的に設定させ、各自がそれぞれのめあてを持って楽しくすごすため、どんなきまりを持ったらよいかを考えさせたい。

③ 本時のねらい

宿泊訓練の目的を理解し、集団野外活動のきまりを守り、正しく行動できるように、自主的にきまりづくりをすることができる。

④ 教育目標との関連

教育目標「協力する子ども」を受けて設定した本年度の重点目標「望ましい人間関係の基盤をつくる」の実践場面として、宿泊訓練の意義をおさえ、集団行動における一人一人の役割りの大切さと、協力し、団結していくために必要な相互信頼に基づいた約束づくりの実践場面としてこの時間を位置づける。

(5) むすび

この事例では、教育目標の内容分析を行い、目標のもつ意味内容を明確にし、具体化に結びつけようと努めている。このことは学級指導の目標設定にあたって教育目標との関連をふまえ、構造的にとらえていることがうかがわれる。

すなわち、学級指導の目標を低学年、中学年、高学年に分け、教育目標のそれぞれの項目ごとに到達目標として具体化している。一般に到達目標としての教育目標というときには次の三つの条件を備えていることが必要といわれている。

- ① 具体的で達成可能であること。

⑤ 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	指導上の留意点・資料	教育目標との関連
展 開	2. 宿泊訓練の目的について話し合う ○活動の意義 ○集団行動の実践	9	既習経験をもとに2つの面から考え出させるよう教師にはたらきかける。	協力する子 ・仲間作り ・団 結
	3. 集団訓練の内容について調べる ○昨年の経験から ○本年の考えられる内容について ・野外炊飯・アスレチック ・キャンプファイアー ・オリエンテーリング ○活動についての希望 ・活動内容 ・班編成	10	・教師の考えをおしつけない。 ・教師が考えている昨年との活動の関連に気づかせたい。 ・資料「森の集い」 ・教師が考えている内容について提示する。 ・児童の希望を生かし実施する方向で進める	鍛える子 ・鍛 練 ・安 全
	4. めあてをきめる ○学年として考える ○グループとして考える ・仲よく行動 ・責任を果たす ・めいわくをかけない	15	◎正しく行動できる子にむけてめあてを決めさせる。 ・ひとりひとりのきんとした目的意識が全体の秩序に結びつくことに着目させる。 ・具体的な目標行動として決めさせる。	学ぶ子 ・行動様式 ・きまり 協力する子 ・人間関係 ・信 頼
終末	(略)			

⑥ 授業実践後の考察

- 実践化をめざす学級指導ほど、効果的な資料が、ねらい達成に効果的である。
- 8グループのうち、6グループは自主的な秩序を考えためあてを決定できた。
- 子どもたちの要望の中で、自由活動の希望が多く、行事のねらいを逸脱しない範囲で早急に検討してやりたい。
- めあてを決める話しあいでは、協力する意識をもって計画がたてられていた。

② 達成のための計画化が行われること。

③ 達成の程度を評価・測定できること。

この観点から、この事例をみると、目標の細分化具体化、そして目標行動としての表現等工夫のあとがよくでている。

さらに実践例をふまえての達成の程度の評価、測定が適切に行われ、それをもとに教育目標との関連や、到達目標としての学級指導目標の改善がすすめられることが望まれる。